

編集後記

『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第十七号をお届けいたします。刊行にあたりましては、関係各位に多大なお力添えをいただきました。厚く御礼申し上げます。

今号の内容は、本センターの二〇二一年一月から二月までの活動報告が中心となっています。

巻頭には、例年通り丸山文庫所蔵資料の公開と利用状況の報告を収録いたしました。資料整理に関してはデータベースの拡充と現物保存状態の改善につとめたほか、二〇二〇年に引き続き、立命館大学加藤周一現代思想研究センターとの共同展示を、ホームページ上においてデジタル展示の形で開催いたしました。

丸山文庫記念講演会は、木畑洋一先生（東京大学・成城大学名誉教授）に「世界現代史への視座——丸山眞男が生きた時代を中心に」というテーマでお話しいただきました。二〇世紀を帝国主義の時代と位置づけ、植民地諸国にも広く目配りをされたうえで、丸山眞男の国際政治に関する発言を絡めながら論じていただきました。参加者の上限が一〇〇人という制限はあったものの対面で開催することができ、参加者の方々からは大変好評をいただきました。本号には講演会で紹介された画像とともに記録を掲載いたしました。

公開研究会は都築勉先生の『おのがデモンに開け』（吉田書店、二〇二一年）の合評会をオンラインで開催し、その録画を一般の視聴希望者に公開

いたしました。今号には評者としてご登壇くださった千葉眞先生（国際基督教大学名誉教授）、谷口将紀先生（東京大学教授）、伏見岳人先生（東北大学教授）からそれぞれご報告のフルペーパーをご寄稿いただきました。また、都築先生、渡辺浩先生（東京女子大学丸山眞男文庫顧問、東京大学名誉教授）にもご参加いただいた討論の記録も併せて掲載しております。動画をご覧いただけない方にも当日の白熱した議論の一端をお伝えすることができましたら幸いです。

本センターが例年提供しております総合教養科目「比較思想」は、中田喜万先生（学習院大学教授）に「比較の中の国家表象」「日本」「天皇」「国体」という題目でご担当いただきました。昨年度と同じくコロナ禍のため残念ながら学外受講者を受け入れることはかなわず、本学学生のみでの講となりましたが、大変興味深い内容の講義を行っていただきました。中田先生に厚く御礼申し上げます。

丸山文庫が所蔵する未発表資料の翻刻は「正統と異端」研究会の録音記録を文字起こしたものを収録いたしました。『丸山眞男集別集』に前半部分を掲載した一九八八年五月二六日の研究会の記録の後半部分ですが、前半とはうってかわって国際関係におけるレジティマシーの問題を論じています。

東京女子大学は近年アジア諸国との国際交流に力を入れ、二〇二一年よりその成果を「アジア・フォーラム」としてインターネット上に公開して

おります。本センターでもアジア交流の一環として、昨年の藍弘岳先生に
ひきつづき、本号には商兆琦先生（復旦大学 青年副研究員）に丸山眞男の
著作の読書体験についてご寄稿いただきました。

また最後に、山辺春彦講師による論文「丸山眞男の正統論と福沢諭吉」
を収録しました。

今後ともアジア諸国の研究者との研究連携を密にするとともに、丸山眞男
を中心としつつ、広く近現代日本思想史の資料や研究に関する情報の収集
と発信につとめてまいります。皆様のご理解・ご支援のほど、なにとぞお
願い申し上げます。

東京女子大学比較文化研究所附置

丸山眞男記念比較思想研究センター報告 第十七号

二〇二二年三月二二日発行

編集 和田博文

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六一

電話・〇三―五三八二―六八一七

FAX・〇三―五三八二―六二二〇

marubun@lab.twcu.ac.jp

[https://www.twcu.ac.jp/main/research/mariyamana-](https://www.twcu.ac.jp/main/research/mariyamana-center/index.html)

[center/index.html](https://www.twcu.ac.jp/main/research/mariyamana-center/index.html)

印刷 (株)丸井工文社